

香港は中国南部の海岸線にはめこまれた「東洋の真珠」であって、昔から中国の神聖な領土である。だが、この百五十年間、香港の空にはずっと「ユニオンジャック」が掲げられていた。

1997年7月1日零時にイギリスのユニオンジャックが降ろされ、中華人民共和国の五星

紅旗が昇る。これによって、中華民族の身体に百年間降り積もった塵埃を払い落とし、長年の国辱を雪ぐことになる。

香港の復帰はもう秒読みの段階に入ったが、復帰後の香港は引き続き繁栄できるだろうか、いま世界中がこの小さな領土の将来に注目している。

祖国に復帰する香港